事例No.	1784
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	大阪府富田林市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・事務の共同実施 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

南河内 4市町村 による 下水道事務広域化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【大阪府富田林市】
南河内4市町村による下水道事務広域化

広域化等　下水道事業

大阪府富田林市上下水道部下水道課

● 取組の概要

執行体制の脆弱化、老朽化施設の増加による維持管理費及び改築更新費の増加などの課題に対応するため、下水道事務の広域化を行った。

◆総事業費　なし（協議等に係る人件費のみ。）

◆背景

- ベテラン職員の退職により技術継承が困難となることに加え、組織体制の縮小による執行体制の脆弱化、老朽化施設の増加による維持管理費及び改築更新費の増加が見込まれ、それぞれの市町村が単独で対応するには限界があった。
- これらの課題を解決するため、隣接する南河内4市町村が下水道事務共同で行うこととした。

◆具体的内容

- 4市町村で下水道法に基づく協議会を設置し、広域連携手法及び可能性の高い事務について協議を重ね、広域事務の開始に向けた構成市町村の合意文書として平成30年3月15日に「南河内4市町村下水道事務の相互連携に係る基本協定」を締結した。
- 下水道施設維持管理の共同化を行うため、ストックマネジメント計画、下水道台帳システム、下水道管路施設点検業務の一括発注、排水設備指定登録の一元化、勉強会や訓練を合同で実施した。

◆効果

- 4市町村の業務を一括発注することにより、コストが削減された（▲約59,530千円/2年）。

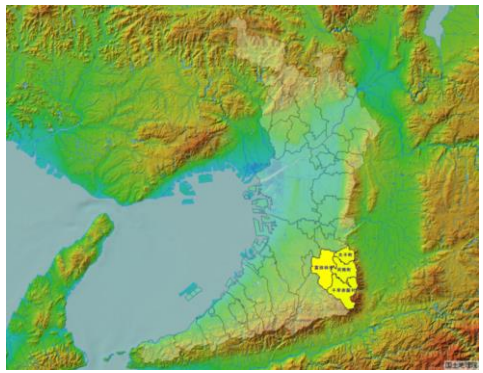
● 取組のポイント

- これまでもゴミ・し尿の一部事務組合や消防救急の広域化の役割を担ってきた市が中心となって行うことにより、スムーズに広域化が図られた。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　108,989人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　3,972km^2（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　102,108人（令和3年度決算）

南河内４市町村



● 取組のスケジュール

- 平成27年度に検討を開始し、平成30年度より広域化を開始した。

● 今後の展望

- 厳しい財政状況下においても安定した下水道事業の運営を可能とするため、更なる広域化を検討する。